

# もしも地震が発生したら

東日本大震災から間もなく12年、鳥取県西部地震から今年で23年経ちます。

普段の生活の中で突然発生するのが地震です。大きな地震が発生したとき、一瞬の判断が生死を分けることがあります。

地震が発生したとき、冷静に行動するために地震に対する行動をあらかじめ考えておきましょう。

## 緊急地震速報

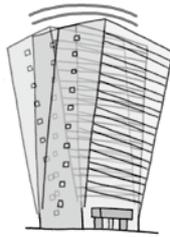
震度5以上の地震が予想される地域に、「緊急地震速報」がテレビやラジオ、エリアメール、防災無線などから流れますが、震源の距離によっては揺れが始まってから緊急地震速報が流れることもあります。

また、今年2月からは、遠く離れたところにある高層建物が揺れる「長周期地震動」についても、緊急地震速報の対象となりました。

## 緊急地震速報を聞いた場合や、強い揺れを感じた場合は

・丈夫なテーブルの下や「物が落ちてこない」「物が倒れてこない」「物が動いてこない」空間で低い姿勢を取り、揺れが収まるまで待ちます。

・屋外にいたら、屋根の直下やタイル張りの壁、ブロック塀、看板などから離れます。



## 地震発生直後にとるべき行動

### 火元の確認と初期消火

火を使っているときは、揺れがおさまってから火の始末をしましょう。出火しているときは落ち着いて消火してください。

### 出口を確保する

揺れがおさまってからドアや窓を開け、避難できる出口を確保しましょう。

### 危険な場所に近づかない

瓦が落ちそうな軒下、ブロック塀、電柱、看板、自動販売機などに近寄らないようにしましょう。

## 地震発生後には

### 避難の前に安全確認

避難が必要な場合は、可能であれば電気のブレーカーを切り、ガスの元栓を閉めてから避難するようにしましょう。

### 状況に応じた避難

近隣に火災が発生した場合や海岸近くにいる場合は、安全なところに避難しましょう。

### 正しい情報を集める

ラジオやテレビ、行政、消防、警察などからの正しい情報を集めましょう。

### 救護活動に協力する

倒壊家屋や家具の下敷きになった人がいれば、近隣で協力し、できる範囲で救出・救護しましょう。



## 日頃から地震に備える

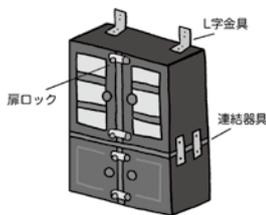
### 【家の周りの防災・減災】

・屋根瓦やアンテナが不安定になっている場合は補強しましょう。  
・雨どいの損傷や雨戸・網戸の建付けを確認し、落下する危険があれば補修しましょう。  
・ベランダは整理整頓し、落下の恐れのあるものを置かないようにしましょう。  
・ブロック塀の耐震性を確認しましょう。  
・プロパンガスボンベはしっかりと土台の上に置き、ボンベが倒れないように鎖で壁面に固定しましょう。  
・玄関まわりに自転車や植木鉢など、出入りに支障となるものを置かないようにしましょう。

### 【家の中の防災・減災】

・吊るすタイプの照明器具はなるべく使わないようにしましょう。  
・冷蔵庫や食器棚、本棚、タンス、テレビなど、転倒しそうなものは固定しておきましょう。  
・キヤスター付きの家具はなるべく避けましょう。  
・食器棚、本棚に飛び出し防止器具を取り付けましょう。

・倒れた家具の下敷きにならない場所、照明器具の落下しない場所で就寝しましょう。



【問合せ】役場総務課

82-1111

